

若いお母さんたちへ

「はるにれの会」プレイルームの
お母様たちからのメッセージ



今回は、月一回「はるにれの会」プレイルームに参加して下さっているお母様三人に、育児の只中であって、今一番書いてみたいことを書いて頂きました。

子育ての日々は決して平たんではありません。渡部さんは、生まれたばかりのお子さんの重い病気を前にして、「今、私は何があの子にしてやれるだろう。」と考え方を転換された

経緯を語られています。子育ての迷いの中で一番忘れやすいものは、「今、ここにいるこの子そのもの」だということに思いあたる時、渡部さんのこの言葉がいかに重いものであるか……。又、福島さんは、御主人の交通事故の二ヶ月間を淡々と語られています。それがどれだけ大変な日々であったか……。日常の平穏が、核家族では、いかに網渡りの状況で保たれているかを改めて考えさせられています。そして、菅野さんは、一見平穏な子育ての日々に内包されている状況を「育児期の母親の主婦的状况」という切り口でとらえ、地域の子育て力をつけたいと思うに至った過程を述べていらっしゃいます。

ちょっと見ただけでは、バラバラに見える現象も、掘り下げて考えてみると、どこか共通の様相を呈するように思えます。子ども達も自分らしく生きられる状況を作りながら、育て手である私たちも、今を見つめて、なすべきことを模索していく。そんなプレイルームにしていきたいと願っています。子育て中の方、子育てをめぐることを考えたい方、是非参加下さいませように。

(入江記)

連絡先 03 (995) 9217

向山